



いよいよ平成24年度がスタートしました。
これから子どもたちは学校で勉強、スポーツ、遊び・・・思い思いに過ごします。
京都府教育委員会は、子どもたちが生き生きとした学校生活を送れるよう応援します。



授業中は真剣
(園部高校)



みんなに見守られて登校
(福知山市立上豊富小学校)



きれいな「天の橋立」をまもろう
(宮津高校)



水の中は気持ちいいなあ
(長岡京市立長岡第五小学校)



楽しい給食の時間
(与謝野町立岩滝小学校)



力を合わせる体育祭
(木津川市立木津南中学校)



募金にご協力お願いします
(亀岡市立東輝中学校)



個性豊かな作品展
(八幡市立くすのぎ小学校)



まごころこめて販売します
(中丹支援学校)



スキー研修で思い出たくさん
(向陽高校)



うまく吹けるように頑張ってます
(京田辺市立大住小学校)

ますます充実！京都府の教育

平成24年度当初
総額 1,908億100

1 京都の未来を創造する人づくりに 向けた教育の推進

新しいタイプの高校を新設！

～京都フレックス学園構想の推進～ 1億2,000万円

様々な学習ニーズのある生徒が、卒業までの年数や授業の時間帯を選んだりできる、新しいタイプの高校を平成27年4月に開校します。実習や体験型の授業をはじめ、民間企業や大学との連携など、これまでにない多様な学習スタイルを取り入れた教育環境を整備します。

今までの全日制・定時制高校の 概念を超える自由なスタイル

担任制やクラス制によるホームルームを重視した丁寧な指導をおこないます。

卒業までの年数を選べたり、生活スタイルに合わせて授業の時間帯を選べるなど、学びやすいシステムで、生徒をサポートします。

いつでも誰でも学べる 柔軟な教育内容

京都府独自の教科をはじめ、実習や体験学習を多く取り入れた授業などにより、生徒の多様な学びをサポートします。

就労や自立を トータルサポート

アドバイザーやカウンセラーによる、学習・進路相談や就労相談など、生徒をトータルにサポートします。



子どものための京都式少人数教育

小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能な教員を配置し、市町(組合)教育委員会が子どもや学校の状況に応じて、少人数教育の手法を選択し実施。特に小学校1・2年生では、35人以下の少人数学級編制に加え、チームティーチングを行うなど、きめ細かな指導を推進します。

京都式専科教育

小学校高学年の音楽・図画工作等の授業において、中学校等の教員による専門的な指導を行います。

子どもたちとトップアスリートとの交流

日本代表や海外チームなどの一流選手を京都に招き、一流のプレーを間近で見たり、一緒に練習したりする機会をとおして、子どもたちの夢をはぐくみます。

「もうすぐ1年生」体験入学

小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるように、入学前の子どもたちが体験入学や出前授業、交流学习などに参加できるよう、年間を通した多彩な取組を広げます。

中1 振り返り集中学習「ふりスタ」

中学1年生の早い時期に小学校の基礎基本を徹底することにより、学習のつまずきの解消を図ります。

伝統文化の継承

古典作品や地域に伝わる昔話などの朗読・暗唱大会を開催します。また、京都にゆかりの深い茶道や華道などを通じた伝統文化の学習をすべての府立高校で実施し、伝統文化への関心を高めます。



京都府スーパーサポートセンター ～特別支援教育の充実～

「京都府スーパーサポートセンター」を拠点に、府内各地で専門的な研修・研究・教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもたちへの、生涯にわたる支援体制を整備します。

府立学校イノベーション・リーダー (学校改革リーダーの養成)

中堅・若手教員が大学、企業等と連携して高校改革に関する調査・研究、政策提案する「学校改革リーダー養成事業」を実施し、今後の高校教育の中心的役割を担う教員を養成します。

現場のニーズに応える教員研修

- 現場のニーズに応じて教員が学校等で研修を受けられる「出前講座」を実現します。
- 教科指導力を高める大学連携講座や、民間企業等の優れたノウハウを学校運営に活かす民間企業等連携講座など、地元京都の力を活かした講座を実施します。



平成24年度当初予算や京都府教育振興プランの詳しい内容は
京都府教育委員会のホームページに掲載しています。
ぜひホームページにアクセスしてください！

京都府教育委員会

検索

京都府教育委員会では、京都府の未来を創造する人づくりに向けた「京都府教育振興プラン」を着実に推進するための予算を計上しています。学校や地域の実情に応じた「京都府ならではの教育」を進めます。

国際社会で活躍できる 人材を育成!

2億4,348万円

～府立高校生グローバルチャレンジ500事業～

友好提携都市である英国エディンバラをはじめ、世界各地への府立高校生の短期・長期留学を支援します。語学研修に加え、演劇やスポーツなど、自分がチャレンジしたい分野を海外で学べるシステムにより、グローバルに活躍できる人材を育成します。

府立高校生グローバル チャレンジ事業

海外での語学研修や演劇やスポーツなど、短期留学の費用を補助し、府立高校生の留学を支援します。

京都グローバル コミュニケーション校の指定

留学や旅行で日本を訪れる学生との交流を積極的に行い、異文化を理解し、尊重する能力を育てるとともに、英語力向上に向けた取組を実施します。



英語教員 ブラッシュアップ事業

英語科教育講座などにより指導力を高めるとともに、教員が自らの英語力を把握し自己研鑽へとつながるよう支援します。

英語指導助手 (AET)の配置

英語指導助手を増員し、府立高校生の外国語による実践的なコミュニケーション能力を充実します。

2 京都の力を活かして一人一人の 学びを支える教育環境づくり

子どもたちの「いのち」を守る取組の推進

東日本大震災の教訓を踏まえた防災教育をはじめ、不審者対策、交通安全など、子どもたちに自ら「いのち」を守るために必要な「知恵」を身に付けさせるための取組を支援します。

また、各校の学校安全計画を実効性のあるものに見直すための研修や、地域で考えられる災害への対応を含め、危機管理マニュアルの作成に対して、チェックやアドバイスを行います。

災害に強い安心・安全な学校づくり

災害から子どもの命を守ることを最優先に、府立学校施設の耐震化工事を加速化させ、一日も早い耐震化工事の完了を目指します。

親のための応援塾

就学前の子どもを持つ保護者が、先輩保護者とともに子育ての不安や悩みについて話し合い交流を深めます。

PTAが主体となって保護者同士のネットワークづくりを進める京都府独自の取組です。

土曜日を活用した教育

土曜日における学校、家庭、地域社会が連携した多様で魅力的な教育活動の実現に向け、小・中学校、府立高校で土曜日授業等の実践研究を実施します。

少年非行総合対策

- ・問題行動の未然防止を図るため、家庭での生活・学習習慣の定着等を支援する「まなび・生活アドバイザー」を拡充し、小学校に配置します。
- ・暴力行為の多発等課題のある中学校には生徒指導緊急指導教員を配置し、早期解決に向けた指導体制を強化します。
- ・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援をさらに推進するため、警察や関係機関との連携を図ります。

高校生等への修学支援

勉学意欲がありながら経済的な理由により修学を断念することがないよう、修学資金の貸与や通学費の補助などにより、高校生の修学を支援します。

京の遺産を未来に継承

京都府が世界に誇る貴重な文化財を適切に保存し、修理現場の公開や出前授業をとおして後世へ伝えます。また、国・府指定等文化財の所在地、保管状況等のデータベースを作成し、関係機関との情報共有を進め、災害時の適切な文化財保全を図ります。

被災地児童生徒の心の復興

福島県の子どもたちを夏休みに京都に招いて、京都府ならではの体験活動や府立高校の施設を利用した実習授業を行い、被災地の復興を支援します。



シリーズ
文化財

北丹後地震写真ガラス乾板 42枚 京都府所蔵

(平成23年度京都府登録文化財)

北丹後地震は、昭和2年(1927)3月7日午後6時27分に、京丹後市網野町郷付近を震源として発生したマグニチュード7.3の大地震で、死者約3,000人、負傷者約8,000人にのぼる甚大な被害をもたらした。「丹後震災」とも呼ばれています。写真ガラス乾板はフィルム以前の写真材料で、この乾板は、京都府職員が地震直後に撮影したと推定され、網野、峰山を中心にした被害の状況を克明に伝えています。いずれもキャビネ判(12.0×16.5cm)で、保存状態もたいへん良く、京都府における震災記録保存の実例としても注目されます。



郷村断層(まっすぐだった道が、地震によってずれている様子が見える)

シリーズ
人権

コミュニケーションでつながる人権の輪！

2枚の写真には、相手の顔をしっかりと見て、生き生きとした表情で人の話を聴いている子どもたちの姿があります。

新舞鶴小学校では、相手の立場を尊重し、「うなずきながら聴く」「相手の目を見ながら聴く」など、「話し手」を安心させる「聴き方」を子どもたちに考えさせる取組を行っています。

また、峰山小学校では、地域の高齢者の方から長年の経験から得た知恵や技だけでなく、努力し続けること、人のためにがんばることなど様々なことを教わり、自分の言葉でまとめ、伝える活動に取り組んでいます。

こうした取組は、子どもたちが日常生活の中の人権について考え、人を思いやる気持ちを高めていくことに繋がっていきます。



舞鶴市立新舞鶴小学校



京丹後市立峰山小学校

「人権学習実践事例集(小学校編)」を作成しました。

京都府教育委員会では、このような学校の取組をまとめた「人権学習実践事例集(小学校編)」を府内の全学校に配付し、人権教育の充実を図っています。

事例集作成協力校:長岡京市立長岡第六小学校、相楽東部広域連立和束小学校、南丹市立富本小学校、舞鶴市立新舞鶴小学校、京丹後市立峰山小学校

きょういく きた みなみ

郷土を愛し、世界にはばたく、子どもの育成

「山城地方の歴史を知ろう」

山城教育局

京都府教育振興プランに掲げられた「地域ではぐくまれた文化を愛し育て、次代の京都を支える人間」を育成するため、山城教育局では、教員が山城地方の歴史・文化を知り、子どもたちにふるさと山城のよさを伝えることができるよう山城郷土資料館と連携し、「地域学習研修会」を開催しました。



火おこし体験

参加者は、地元の郷土史家から地域の歴史にまつわるエピソードを聞いた後、いにしへの生活を体験するなど地域学習の意義を深め、教育実践に取り入れるヒントを得ました。学校による山城郷土資料館活用が増え、子どもたちが歴史や文化に対する学習を深めていくことを期待しています。



竪穴式住居見学

「プラスワンスタディ」で、やる気プラス！夢アップ！

「ありがとう！高校生先生」

丹後教育局

「プラスワンスタディ」は、府立高校生が近隣の小学校に出向き、小学生の学習を支援する取組です。小学生は、「分かりやすく教えてもらい、たのしかった。」「やる気も出てきた。」と言っています。参加した高校生は、「分かってもらえて嬉しかった。」「教職への夢がさらに強まった。」と感想を述べています。

丹後教育局では、地域の教育力を活かし、社会総がかりで子どもたちをはぐくんでいく取組を推進しています。



高校生の修学を応援しています

京都府では、平成22年度から府立高校の授業料を徴収しないこととしています。また、勉強意欲がありながら経済的な理由により修学を断念することがないよう、高校生等修学支援事業を実施しています。詳しい内容は、各高校等を通じて配布する「貸与申請案内」又は高校教育課のホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/>)をご覧ください。

高校生等修学資金貸与(貸付)事業の申込みは、以下のとおりです

●高等学校等修学資金(修学金・修学支度金)貸与制度

対象: 高等学校等に在学の生徒

受付: 随時(申請日の翌月分からの貸付)各校へ提出

ただし、平成24年度新生で、4月分からの貸付希望者は5月15日まで(既に貸与予定決定を受けている方は4月30日まで)

●修学支援特別融資利子補給制度

対象: 高等学校等に在学の生徒の保護者

受付: 5月15日まで(定員あり)各校へ提出

※いずれも保護者等が府内に在住していること、世帯又は保護者の所得基準などの要件がありますので、詳しくは「申請の手引き」をご覧ください。

問い合わせ先

在籍する高等学校等又は京都府教育庁指導部高校教育課修学支援担当
TEL 075-414-5856・5154

☎ ご相談ください ✉

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、教育相談を行っています。

電話教育相談 (24時間受付) ふれあい・すこやかテレフォン

■075-612-3268 または 3301

■0773-43-0390

来所・巡回教育相談

■月～金(祝日を除く)上記の電話でお申し込みください。臨床心理士又は精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。京都府総合教育センターや教育局等で行っています。

メール教育相談

■アドレス

<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/soudan.htm>
携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見されたら通報してください。

■パソコンからは

<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/netijime.htm>

■携帯電話からは

<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/knetijime.htm>

